

かがやけ

上成小学校
学校だより №46



一年生は年に五回、上成幼稚園の年長児と交流をしています。二月七日は、最後の交流会を行いました。一年生にとっては、今までずっと「お客さん」としてお店を回っていて、ここで初めて自分たちでお店を開きます。しかし、もう慣れたものです。たくさんの園児に喜んでもらおうと大きな声で呼び込みをし、ゲームのやり方を丁寧に教えていました。一年生はもうすぐお兄さん、お姉さんになります。心の準備はバッチリできています。

2/7 幼稚園児・小一交流 ～お店やさんごっこ～



わたしは、「わくわくがっこうめいろ」をしました。ルールのせつめいをしたら、みんなやぐそくをまもって、ゲームをたのしんでいました。うれしかったです。一A 女子

ぼくは、「ボーリングストライク」をしました。「いらっしやいませ。」と大きなこえでいうのをがんばりました。いっぱいお客さんがきてくれてうれしかったです。一B 男子

特集：教室を出て学習をしよう

2/8 3年生七輪体験 ～昔のくらしを実感～

三年の社会科学習として、七輪で火をおこす体験をしました。炭に火が点くまでに時間がかかりましたが、点いてしまえばしめたもの。うちわでしっかりあおいで、準備完了。ここからは、お楽しみのもち焼きです。焦げないようにな上手に焼き、砂糖じようゆでおいしく食べました。



火が強くなったり弱くなったりして大変でした。でも、通気口をうまく使うとちょうどよかったです。今はとても楽で安全だけど、昔はけがをするなど大変だったことが分かりました。三B 女子

七輪は、火がきえそうになったり、強すぎたりして、ちようせつがむずかしいなと思いました。もちは、両面まるこげになりましたが、おいしかったです。楽しかったので、またやりたいです。三A 女子

2/8 4年生芸術鑑賞 ～作品の美しさにふれて～

「倉敷っ子美術展」の見学と社会科学習の一環で「大原美術館」の見学に行きました。「倉敷っ子美術展」では、市内の小・中学生の作品を見ました。「きれいな」「わたしの作品があった。」と笑顔で熱心に鑑賞しました。大原美術館では、大原孫三郎と児島虎次郎のことを中心に説明を聞きました。「すごい。」「どの絵が人気あるの？」と、子どもたちは興味津々で話を聞いたり質問したりしました。また本物の作品の前に「何が見える？」「穏やかな気持ちになるのはどっち？」とガイドの方と対話しながら鑑賞（対話型鑑賞）しました。四年生にとって、実りの多い社会科学習になりました。(教員)



美術展では、自分が好きな物を不思議なものでかいていて、夢が広がるような楽しい絵で、すごいなと思いました。大原美術館では、お客さんがわくわくするような展示の工夫がありました。四A 女子

美術展では、上成小の作品を見た後、他校の作品を見ました。個性があふれているなと思いました。大原美術館に展示してある絵で、とてもきれいだと思います。クロードモネの「睡蓮」とエルグレコの「受胎告知」です。四B 女子